

加：私の同期では東南アジアで同期会をする人たちがいます。

児：へえ～素晴らしいことだね。海外に出ている人がたくさんいるんだね。

加：東京と広島のアカシア会で学年幹事を務めた時に同期のfacebookが立ち上がりました。そこで色々情報交換したり同期会の様子をお知らせしています。そうした中には海外で集まったという報告もあります。いつぞやシンガポールでの同期会では日本からもツアーを組んで出向いた同期会もありましたよ。

児：いいことだね。どんどんやってもらいたいね。



児：広島というのは世界中で一番知名度が高いからね。この広島という呼び名には三通りあってね。以前広銀の頭取、会長をやっておられた橋口さんがよく言っておられたことだけど、カタカナで書く「ヒロシマ」と、ひらがなで書く「ひろしま」と、漢字で書く「広島」。

甲：それぞれ意味が違いますか。

児：そうだよ。カタカナの「ヒロシマ」は原爆投下以降のことで、平和祈願の意味合いを帯びたりする。漢字の「広島」は明治以降の広島。

甲：時代的な意味合いですね。

児：そう。そしてひらがなの「ひろしま」は本当の広島の人たちの暮らしを反映している。おだやかな気候や人々をあらわしている。

甲：湯崎知事(英彦・75回)が「ピースアークひろしま」や「ワールドピースコンサートひろしま」などよく使われていますね。

児：音楽センターやコンサートといった文化的な側面から世界と繋げていこうという時なんかもそうだね。

加：児玉先輩は日本オーケストラ連盟で理事長をされていますね。

児：そうなんだよ。いま全国で33のプロのオーケストラが加盟していてね。もちろん広響も入っているよ。2002年から文化庁と一緒にアジアオーケストラウィーク

というのをやっていてね。アジアのオーケストラを招いて、初台にある東京オペラシティのホールで耳の肥えた人たちに聴いてもらえる公演をしたり、オーケストラ楽団員のための研修プロジェクトもやっている。今年からはASEANも含めたアジアの太平洋地域へ日本から講師を派遣して指導したり情報交換や交流を一層深め、お互いの発展を図りながら世界平和に貢献できるようなこともしていくよ。

甲：アカシアの中にも活躍された先輩方がたくさんおられましたね。

児：そうだね。川瀬洋くん(43回・チェロ奏者・故人)だとか、林(有松)洋子さん(43回・バイオリン奏者)。第二次世界大戦の前後は優秀な人たちがたくさんいたよ。校舎はボロボロなのに専用の音楽教室があった学校なんて他にはなかったんじゃないかな。

甲：その頃に生徒が楽器を持っている写真を見たことがあります。

児：他にも日本音楽財団でも理事を務めていてね。そちらでは世界でも最高クラスのストラディヴァリウスとグァルネリィの弦楽器を5年間ほど若手有望音楽家に無償貸与して育成をしているんだ。東日本大震災の後で財団が保有する楽器一挺をオークションに出してね。落札金で被災した学校に楽器を購入して提供もしたりしているよ。

甲：ここ数年でストラディヴァリウスなんかはかなり高騰してるようですね。

児：数が限られているからね。避寒地としてASEANの国々に行くのもいいんじゃないかな。沖縄やグアムやサイパンだけじゃなくてね。マレーシアでもインド洋側に良いところがたくさんあったりするよ。

甲：ASEAN諸国というとベトナム戦争やミャンマーの軍政、カンボジアの内戦といったことで、負のイメージが多く感じられるのですが。

児：近年はそういったイメージを払拭しているし、中国との対抗上という事ではなく、日本にとっても、広島にとっても、大事にお付き合いすべき地域だと言えるんじゃないかな。

甲：最後に、まず附属の在校生に何かひと言を頂戴できますか。

児：昔から附属の校風というのはとても素

晴らしいよね。ものにこだわらず、伸び伸びと好きなことをとことんまでやらせてもらえる環境だから。今は難しい世の中になってきていると思う。どうか良き伝統を大切に殺してしまわないように。伸び伸びできるのはかけがえのないことだから、どうか自分を大切にもらいたい。

甲：この会報をご覧になっている会員の皆さまにもひと言をお願いします。

児：縁あって90～100周年にかけて東京アカシアの会長をやらせてもらった時に思ったんだけど。仕事をしている若い会員の人たちはみんな忙しいよね。ポジションが上がって40才を過ぎた頃になると部下に任せられることも増えてくる。で、40半ばになると昔が懐かしくなって仲間会いたくなくて会うようになる。でもね。もっと若い20代や30代の人たちも時間をみつけて集まるようにした方がいいと思うんだ。異なった価値観に触れたり異分野の知見を広げることは、何よりも本人のためになることだから。

甲：そうですね。若い人にもたくさん参加してもらいたいですね。

児：40の頃に60の先輩を見た時には「わあ～」って思っていたものだけど、自分がいざ60になってみると案外と若いなと思った。それが今では80になっているんだから信じられないよね。20代の頃には想像がつかなかったよ(笑)周りを見れば90代で元気な人がたくさんいるよ。彼らはみんな好奇心にあふれているし、社会に関心を持っているし、自分の好きなことを続けている。だからストレスがなくて年をとらないんじゃないかな。そんな風にしていきたいね。

.....

甲：無事、隊員第2号が誕生したのお。

加：はめられたんかなあ...

編集：加用雅信(80回)

文責：甲斐 稔(63回)



左から児玉氏(43回)、加用(80回)

～母校定期演奏会のお知らせ～ 入場無料！お気軽にお越しください。

合唱班第8回定期演奏会

日時：2014年8月3日(日)

開場：14：30 開演：15：00

場所：広島大学附属中・高等学校講堂

曲目：「ルネサンス期イギリス世俗曲集」より、
まどみちお作詩／鈴木憲夫作曲 混成合唱組曲「地球ばんざい」、「桜の季節」、「落葉松」ほか



管弦楽班 第38回 定期演奏会

日時：2014年8月9日(土) 開場：16：30 開演：17：00

場所：広島国際会議場フェニックスホール(平和公園内)

曲目：ガラスノフ 交響曲第6番、グノー「ファウスト」よりフィナーレ・フリネの踊り、A.メンケン 映画「リトルマーメイド」より 他

※会場に駐車場はございませんので、付近の一般駐車スペースにお停め頂くか、市内電車などの公共交通機関をご利用下さい。